

ダイナミックやまなし推進体制の強化について

平成27年7月6日

山梨県総合計画（暫定計画）の策定と6月議会での政策予算の成立を踏まえ、今月からは、「輝き あんしん プラチナ社会」の実現に向けた具体的な施策・事業を本格的に実施していくこととなる。

特に、主要課題である人口減少対策などに対して、スピード感を持って積極果敢に取り組むためには、全庁的な推進体制の更なる強化が必要である。

このため、人口減少対策等を担当する女性副知事の就任に併せて、新たな職を設置するなど、ダイナミックやまなし推進体制の強化を図ることとする。

1 各部局におけるダイナミックやまなし推進体制の強化

ダイナミックやまなし推進の実行部隊である各部局の体制を更に強化するため、教育委員会を含む12の部局に各1名ずつ、「政策企画監」（管理職）を設置し、各部局所管の人口減少対策等に関する、県民や企業、市町村などとの対外的な窓口や庁内調整等を一元的に担当させることとした。

また、政策企画監には、新鮮な発想で業務を進めることが期待されることから、県生え抜き職員では管理職最年少となる47歳の職員を含め、可能な限り若手を登用することとした。47歳の職員の管理職登用は、23年ぶりのことである。

なお、政策企画監には、本庁監や課長補佐を兼務させることにより、各部局の定数が増加しないよう配慮した。

政策企画監を設置する部局

知事政策局、企画県民部、リニア交通局、総務部、福祉保健部、森林環境部、エネルギー局、
産業労働部、観光部、農政部、県土整備部、教育委員会

政策企画監の登用年齢

47歳1名、48歳1名、49歳1名、50歳2名、51歳以上7名

2 国際総合戦略推進体制の整備

産業労働部、観光部、農政部等がそれぞれ所管している国際関係業務を総合的かつ戦略的に推進するため、これらの業務を統括する国際総合戦略担当理事を知事政策局に設置する。

同理事には、海外勤務の経験があり、国際機関との調整などにも力を発揮した知事政策局の富士山保全・安全対策担当理事を起用し、国際関係業務に係る庁内調整や対外的なネットワーク強化などを担当させる。

なお、引き続き富士山保全・安全対策を着実に推進するため、富士山保全・安全対策担当理事としての職務も兼務させることとした。

3 スポーツ誘致体制の強化

東京オリンピック・パラリンピック関連をはじめとして、様々なスポーツキャンプなどを積極的に誘致し、受入支援を行うことにより、地域活性化にもつなげていくため、教育委員会にスポーツ誘致担当理事を設置する。

同理事は、観光部の東京オリンピック・パラリンピック担当次長が兼務し、観光部と教育委員会との連携強化も図ることとした。

4 全庁的な司令塔機能の更なる充実

知事政策局の全庁的な司令塔としての機能を更に充実させるため、知事政策局の政策主幹を1名増員し、現状の7名体制から8名体制へと拡充する。

増員する政策主幹には、新たに財務省から本県に出向する職員を充てることとし、国との一層の連携強化にも配慮した。

以上1から4に係る人事の発令日は7月13日付け、人事発令名簿は別紙のとおりである。

5 電気事業の基盤強化とエネルギー供給力充実に向けた、企業局と電力会社との人事交流

今後の企業局電気事業の経営戦略の構築と、県内におけるエネルギー供給力の充実に資するため、企業局と東京電力との人事交流を実施する。

まずは、8月1日から東京電力の職員を企業局に受け入れることとし、明年度は企業局からも東京電力へ職員を派遣する予定である。

東京電力からの受入職員は、企業局長の下に地域エネルギー推進監として配置し、電力システム改革への対応や県内企業等への安価な電力供給の施策推進などを担当させることとする。

また、エネルギー局にも兼務させ、新たなエネルギービジョンの策定なども併せて担当させる。